

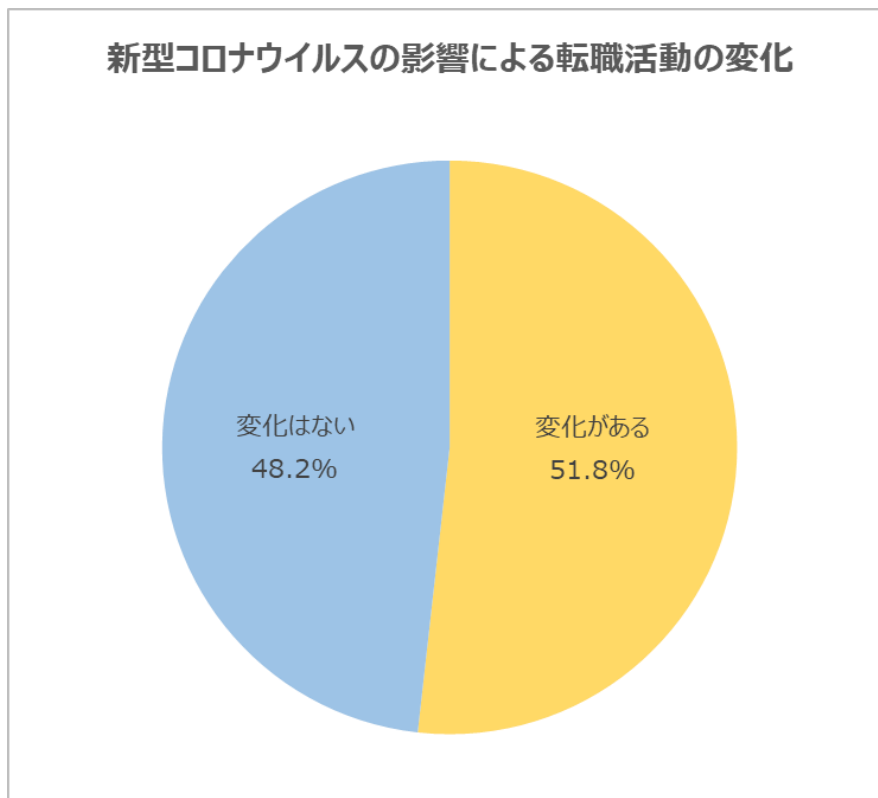
【20代意識調査】転職活動に、「新型コロナウイルスの影響がある」と回答した**20代が51.8%。影響内容は、「テレワークの有無など働き方を意識」****「転職時期を遅らせた」が回答を集める。**

株式会社学情は、20代の仕事観や転職意識をひも解くために、アンケート調査を実施しました。今回は、「新型コロナウイルスによる、転職活動への影響」に関して調査。新型コロナウイルスの影響による、転職活動の変化について、51.8%が「変化がある」回答。「変化はない」48.2%を上回りました。新型コロナウイルスによる、転職活動への影響について、職歴3年以上のヤングキャリアは「テレワークの有無など働き方を意識するようになった」が41.3%で最多。職歴3年未満の第二新卒は「転職時期を遅らせた」が37.3%で最多となりました。また、「企業の安定性を重視」「スキルの習得を重視」「副業可能かを確認するようになった」も回答を集めており、景気に左右されにくい環境で働くことや、景気に左右されない「スキル」「本業以外でも稼げる手段」を得ることを求めていると推察されます。

【TOPICS】

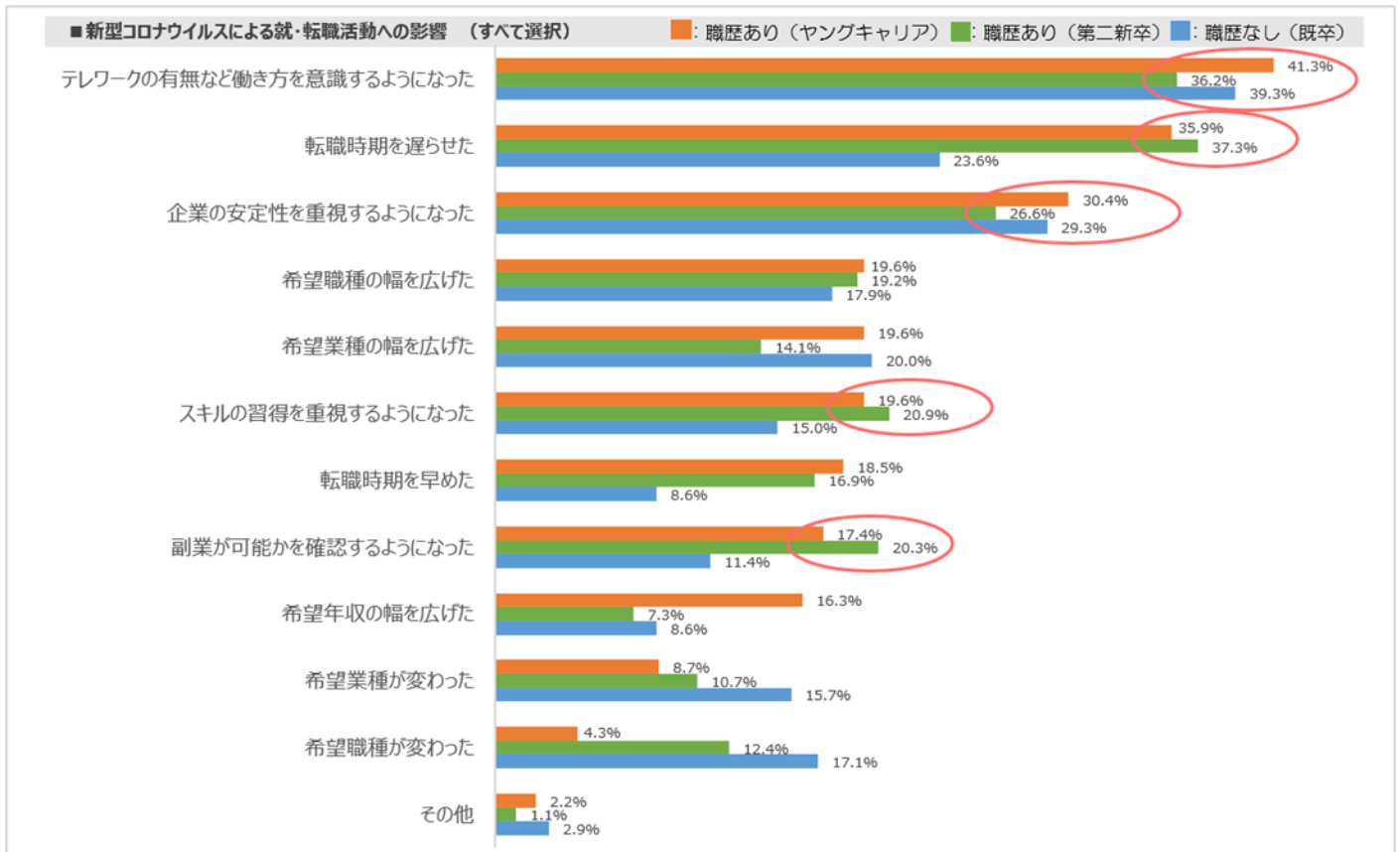
- (1) 新型コロナウイルスの影響による、転職活動の変化について、51.8%が「変化がある」と回答
- (2) 新型コロナウイルスによる影響は、「テレワークの有無など働き方を意識」「転職時期を遅らせた」が回答を集める
- (3) 通常通りの勤務形態で働く20代が、71.6%

- (1) 新型コロナウイルスの影響による、転職活動の変化について、51.8%が「変化がある」と回答



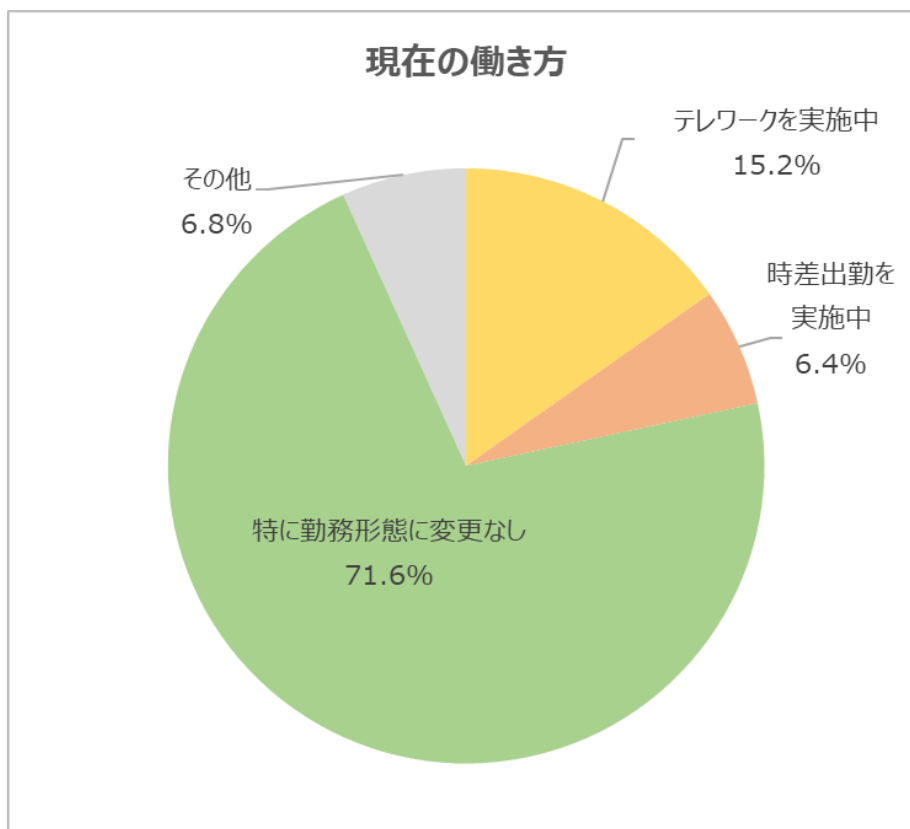
新型コロナウイルスの影響による、転職活動の変化について、51.8%が「変化がある」回答。「変化はない」48.2%を上回りました。

(2) 新型コロナウイルスによる影響は、「テレワークの有無など働き方を意識」「転職時期を遅らせた」が回答を集める



新型コロナウイルスによる、転職活動への影響について、職歴3年以上のヤングキャリアは、「テレワークの有無など働き方を意識するようになった」が41.3%で最多。職歴3年未満の第二新卒は、「転職時期を遅らせた」が37.3%で最多となりました。社会人経験を積んだヤングキャリアは、より希望にあった働き方を実現するために転職を検討する一方、職歴の浅い第二新卒は転職活動を有利に進めるため、転職時期を見直す傾向にあることが分かります。「希望の業種・職種」の幅を広げるなど、転職活動の選択肢を広げている傾向も見えてきました。また、「企業の安定性を重視」「スキルの習得を重視」「副業可能かを確認するようになった」も回答を集めており、景気に左右されにくい環境で働くことや、景気に左右されない「スキル」「本業以外でも稼げる手段」を得ることを求めていると推察されます。

(3) 通常通りの勤務形態で働く20代が、71.6%



現在の働き方については、「特に勤務形態に変更なし」が71.6%で最多。次いで、「テレワークを実施中」15.2%、「時差出勤を実施中」6.4%と続きました。

■調査概要

- ・調査対象：[20代専門]転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「Re就活」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2021年3月1日～2021年3月14日
- ・有効回答数：790名